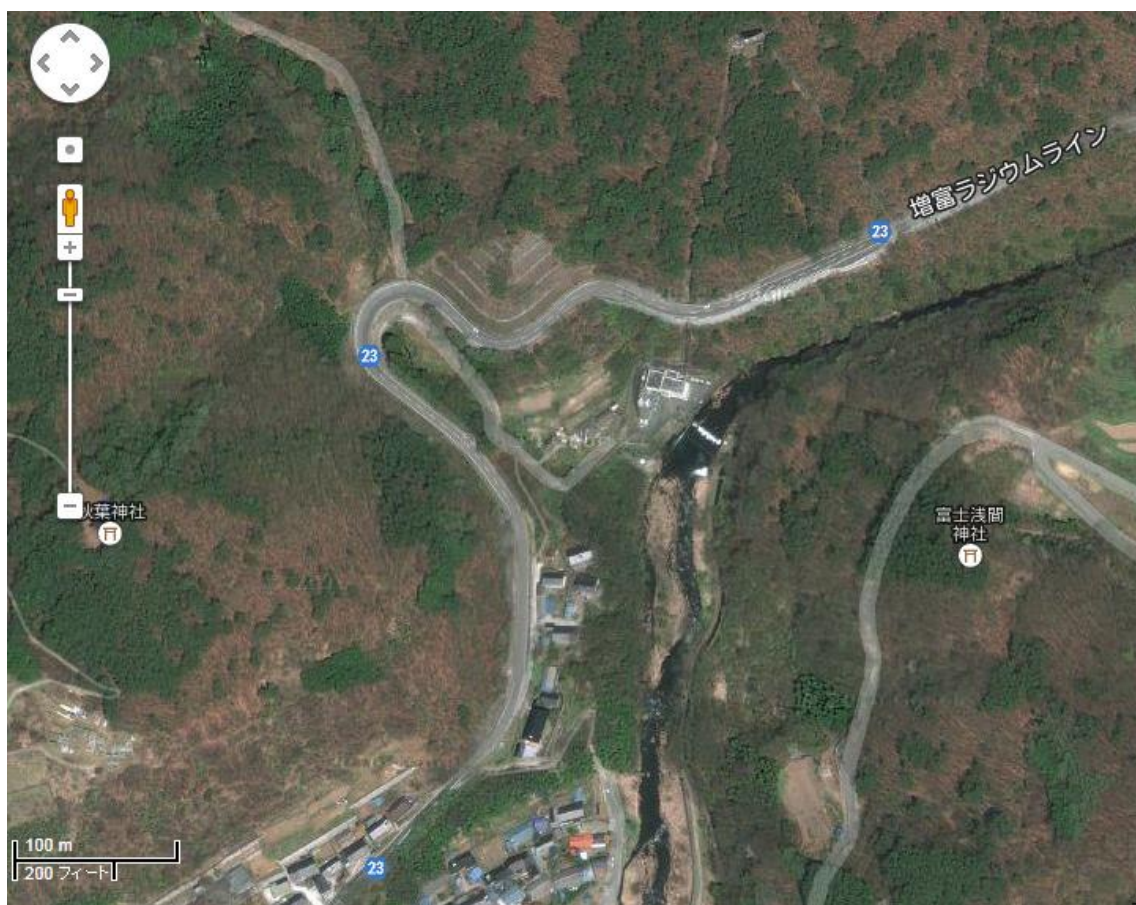


朝穂堰



GoogleMap による航空写真

北緯 35.837094°

東経 138.477425°

山梨県北杜市須玉町江草10746付近



朝穂堰（用水路）の頭首工と発電所（東京電力）2013年9月13日撮影
用水は取水口からの取水と発電所からの放水を用水路に取り込んでいます。
右岸には魚道が設置されているが、流速が速く、とても魚が遡上できるとは考えにくい。



左端の部分が取水工で、右端のゲートは放流工です。発電所からの放流水は固定堰下に埋設されている放流管（バイパス管）によって朝穂堰（用水路）導水されている。

江戸時代から受け継がれる朝穂堰です。総延長 25Km に及ぶ幹線的水路であり、水路トンネル部分もある歴史的水路です。

朝穂堰水配役人詰所文庫

穂坂町宮久保の穂坂小学校と倭文神社との間にあります。

朝穂堰は総延長約 15 キロメートルの堰（=用水路）で享保 3（1718）年 7 月に完成しました。

水配の管理のために、取水口と流末に幕府からの役人が駐在しました。三ツ沢に詰所が設置され、その屋敷の一角に、関係 4 ヲ村の夫役の提供で高石垣の文庫を建設しました。

明治 6（1873）年に県の布達によって堰に関する官費支弁が廃止となり、民営となりました。このことで詰所が不要となって、文庫は「御真影奉安殿」に転用され、昭和 20 年の終戦とともに御影を奉還しました。



黄金色に輝く稲穂（山梨県北杜市須玉町江草12258付近）2013年9月13日撮影

北緯 35.831036°

東経 138.47463°



航空写真に見える水路橋と大穴隧道出口

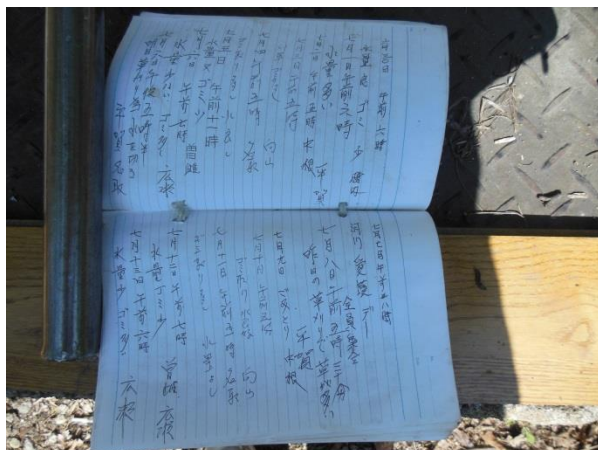


大穴隧道出口 山梨県韮崎市穂坂町三之蔵 2013年9月12日撮影

北緯 35.753138°

東経 138.479162°

用水路の管理記録帳と記録





大穴隧道出口直下流の水路橋

